

科学の甲子園県大会で優勝した酒田東高の生徒に、
表彰状やメダルが贈られた 一酒田市・同校



科学の甲子園県大会優勝、表彰式

酒田東高 全国へ決意

科学好きの裾野拡大などを目的に、高校生が科学の知識や技能を競う第11回科学の甲子園県大会で、酒田東高の2年生7人によるチームが優勝し、同校で9日、表彰式が行われた。来年3月18～21日、茨城県つくば市で開かれる全国大会に本県代表として出場する。

県大会は県教育委員会が主催。10月に天童市の県教育センターなどで開かれ、県内16校の1、2年生114人が参加した。理科、数学、情報に関する筆記と、ビー玉やストローを使って

重心を調整し、倒れにくい箱と倒れやすい箱を作る実技の合計点を競った。酒田東は360点満点中238点を獲得し、2位の山形北に30点の大差を付けた。表彰式では、大会実行委員長の村上ゆかり同センター副所長が生徒に賞状やメダルを手渡し、「さらなる高みを目指し、一層チームワークを高めて頑張ってください」とあいさつ。大山慎一校長が「本年度指定を受けたスーパーサイエンスハイスクールとして、幸先よいスタートを飾る優勝。酒田東

高の誇りを胸に、全国大会でも精いっぱい戦ってほしい」と激励した。
チームを代表して2年生佐藤奏汰さん(17)は「各地のライバルと切磋琢磨し、科学に対する知見と造詣をさらに深めたい」と抱負を語った。
(吉村瑛人)